

第2期船員保険データヘルス計画 後期実施計画

2021年度～2023年度

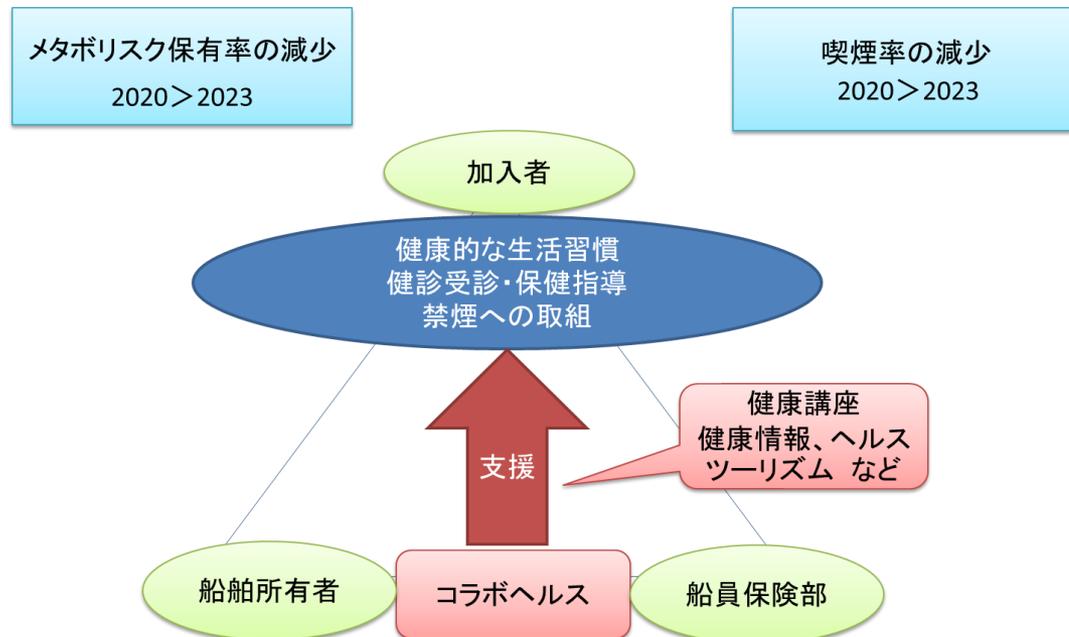


全国健康保険協会
船員保険

○ 後期実施計画のポイント

「加入者のメタボリスク保有率の減少」と「喫煙率の減少」を目指し、ICTの活用、取組対象の重点化による効果的・効率的な健診・保健指導を実施するとともに、船員の健康づくりを支援するため、船舶所有者と協働したコラボヘルスの取組みを強化する。

(次ページ以降は、後期に新規実施予定の施策を掲載)



①健診事業等の推進

実施方針

受診環境の整備、効果的な勧奨、船舶所有者との協働により、健診受診率・保健指導率を向上させる。

施策

- 加入者のニーズを把握し、巡回健診を拡充する。
- 巡回健診へ保健師を同行させるなど保健指導の初回面談分割実施を積極的に進める。
- 生活習慣病予防健診の魅力をアピールし受診者の拡大を図る。
- 健診未受診者の状況を分析し、重点的な勧奨を行う。
- ICTを活用した保健指導についての広報を強化し、その利用を促進する。
- 新たな保健指導実施機関を拡充する(フィットネスジム等)。
- 船員手帳健診結果を収集しやすい仕組みを構築する。
- コラボヘルスを推進し、船舶所有者の船員の健康管理に対する意識を高めることにより、船舶所有者から船員へ健診・保健指導利用の働きかけを促す。

② 船舶所有者等との連携

実施方針

自社船員の健康づくりに取り組みやすい環境を整備することにより、船舶所有者の
コラボヘルスへの参加を促進する。

施策

- 自社船員の健康状態を把握するための「健康度カルテ」の内容、「プロジェクト“S”」(船員保険コラボヘルス)の支援メニューを充実させる。
- 「プロジェクト“S”」による取組みのメリット、他船舶所有者の取組みの好事例等を紹介する。

③ 健康づくりに関する情報提供及び啓発活動

実施方針

船舶所有者、加入者の広報媒体の利用状況を踏まえつつ、電子媒体の活用を進め、効果的な情報提供・広報を実施する。

施策

- 船舶所有者及び加入者の媒体利用状況を分析し、利用者属性に応じた情報提供、広報体制を構築する。
- ホームページ上での動画配信、SNS等の利用、メールマガジンの内容充実等により、利用者の利便性を高める。
- 健康づくりに関する啓発活動の一環として、ヘルスツーリズムを試行的に実施する。

④ 調査・研究

実施方針

船員保険事業の運営に資する調査・研究の実施に必要な基盤の整備を行う。

施策

- 各部署に分散しているデータ(船舶所有者・加入者の適用情報、医療費データ、健診結果等)を一元的に管理できるデータベースを構築する。
- データ分析ソフトウェア、ハードウェアを整備し、調査・研究の内製化を進める。
- 船員の健康問題等に詳しい研究者をアドバイザーとするなど、外部有識者の知見を活用する仕組みを整える。